

<一般選抜>

【世界史】

●問題冊子10ページ：3 (10)

選択肢に正解として扱うことができるものが複数ありましたので、そのいずれを選択した場合も得点を与えることといたします。

●問題冊子10ページ：3 (12)

選択肢の記述に不適切な部分があったため、適切な解答に至らないおそれがあると判断しました。当該箇所の設定につきましては、解答の有無・内容にかかわらず、受験生全員に得点を与えることといたします。

以上

早稲田大学 教育学部
2024年度 入試問題の訂正内容

<一般選抜 >

【世界史】

●問題冊子10ページ：3 (10) 選択肢d

(誤)20世紀初頭, オランダ本国でインドネシアでの
植民地政策に世論の批判が高まり, …

(正)オランダ本国でインドネシアでの植民地政策に
世論の批判が高まり, 20世紀初頭, …

以上

世界史

(問題)

2024年度

〈2024 R06180015 (世界史)〉

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～13ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	● 良い	○ 悪い	○ 悪い
マークを消す時	○ 良い	○ 悪い	○ 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

問3 環大西洋世界もまた、交易や政治の舞台となった。大西洋をめぐって取引された物産としては、銀や砂糖、コーヒー、綿花、タバコ、干しダラなどが代表的である。アフリカの奴隷も含めて、大西洋を舞台として行われた三角貿易は、特にイギリスやフランスなどの西ヨーロッパ諸国に大きな利益をもたらし、産業革命の前提となる資本蓄積が促されることとなった。政治に関しては、18世紀後半から19世紀前半に起こった大西洋革命という一連の変革が注目される。そこでは、アメリカ独立戦争とフランス革命のほか、西インド諸島、南米にまで及ぶ各地で、共和制の国々が成立した。なかでも **A** では、史上初の黒人共和国である **B** が誕生した。

(8) 環大西洋世界におけるスペインの進出について、誤っている説明はどれか。

- a 女王イサベルの後援を得たコロンブスは、大西洋を横断して到着した土地を「インド」の一部であると考えていた。
- b ドミニコ会修道士ラス＝カサスは、『インディアスの破壊についての簡潔な報告』を著し、先住民の窮状を訴えた。
- c トルデシヤス条約により、ローマ教皇が設定したスペインとポルトガルの植民地分界線は西方へ移された。
- d ピサロのインカ帝国征服に続いて、コルテスはメキシコを征服した。

(9) 銀と砂糖について、正しい説明はどれか。

- a 大量の銀が流入したヨーロッパでは、銀価格が下落するのに伴って、デフレーションが起こった。
- b アメリカ大陸最大の銀山だったポトシ銀山は、現在のペルーにある。
- c サトウキビのプランテーションは、16世紀にブラジルで本格化し、17世紀にはカリブ海の島々に拡大した。
- d 17～18世紀のヨーロッパにおける、砂糖やコーヒーなどの新しい物産が流入したことによる消費生活の変化は、「消費革命」と呼ばれる。

(10) 産業革命について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。

- ① イギリスと比較すると、西ヨーロッパ諸国での産業革命は大きく遅れ、ほぼ1830年代に本格化した。
 - ② イギリス初の鉄道の営業運転は、綿工業の中心地マンチェスターと綿製品の輸出港リヴァプールを結んで行われた。
- a ①－正 ②－正 b ①－正 ②－誤
c ①－誤 ②－正 d ①－誤 ②－誤

(11) 大西洋革命について、正しい説明はどれか。

- a コシユーシコ（コシチューシコ）は、クラクフでの蜂起を指導した後、アメリカにわたり、アメリカ独立戦争に参加した。
- b アルゼンチン出身のサン＝マルティンは、チリとペルーの独立を指導した。
- c 独立後のアメリカ合衆国では、第3代大統領となるトマス＝ジェファソンが連邦派として、連邦政府の権限強化を主張した。
- d フランス西部のヴァンデー県を中心に、国民公会を支持する革命派の農民蜂起が起こった。

(12) 文章中の空欄 **A** と **B** に当てはまる地名と国名との組合せとして正しいものはどれか。

- a A－イスパニョーラ島 B－ハイチ
- b A－イスパニョーラ島 B－ドミニカ
- c A－バハマ諸島 B－ハイチ
- d A－バハマ諸島 B－ドミニカ

- 2 社会主義運動について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(13)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

産業革命期のイギリスでは人口が急増し、全体として国の富は増大した。ヴィクトリア女王の下でのイギリスの繁栄は、こうした経済発展に支えられていた。一方、労働者は繁栄を必ずしも享受していたわけではなく、その生活は悲惨なものだった。そうした中で、労働者の待遇改善を唱え尽力した工場主や知識人もいた。

工業生産の拡大が進む中、労働者の国際的団結による社会主義社会の実現がカール＝マルクスらによって説かれた。マルクスは、プロイセン王国のトリアー生まれであったが、プロイセン政府の言論統制を批判する政治的活動を行い、さらに、1848年の『共産党宣言』により共産主義運動の中心人物と目され、各国政府から危険視されたため、ロンドンに逃れざるをえなかった。ロンドンでのマルクス家の暮らしは、労働者に負けず劣らず困窮していたが、1860年半ばにようやく安定を見た。生涯の大作『資本論』の執筆や社会主義運動の組織化に注力できるようになった。だが、パリ＝コミュン後、運動への弾圧は激化した。弾圧が強まったのはフランスだけではなく。フランスとの戦争に勝利して成立したドイツ帝国での抑圧も苛烈になっていった。

この間、父カールを助けたのが、マルクス家の四女エリノアである。「トゥッシー（エリノアの愛称の一つ）は私なんだ」と言うほど、父はこの娘の才能を評価した。19世紀の最後の20年間、労働者運動の国際化の機運が再び高まる中で、父の著作の英訳を行い、マルクス主義の普及に尽力した。また、第2インターナショナル結成に向けての交渉や協議でも重要な役割を担った。政治的活動ではこのように活躍したものの、他方で、病弱な内縁の夫の介護に明け暮れ、政治活動にも支障が出るようになった。最後は、その夫の裏切りに絶望し、43歳でこの世を去ったのだった。

(1) イギリスの女王について、誤っている説明はどれか。

- a ヘンリ8世の娘メアリ1世は、旧教徒を弾圧した。
- b ジェームズ2世の娘メアリ2世は、夫と共に即位し、共同統治を行なった。
- c ヘンリ8世の娘エリザベス1世は、貧民を救済する救貧法を制定した。
- d ジェームズ2世の娘アン女王は、スコットランド女王に即位した。

(2) ヴィクトリア女王治世のイギリス政治について、誤っている説明はどれか。

- a 1860年代、自由党と保守党の二大政党が政権を交替して担当する議会政党政治が成立した。
- b クリミア戦争でオスマン帝国を支援した。
- c 自由党からアイルランド自治法案が提出された。
- d 帝国の重要性を強調したジョセフ＝チェンバレンが、保守党から離脱し、植民地相として自由党内閣に加わった。

(3) イギリスにおける労働者の権利について、誤っている説明はどれか。

- a 1824年に団結禁止法が撤廃されて、労働組合の結成が認められた。
- b 1833年の一般工場法により、18歳未満の者の労働時間が制限された。
- c デイズレーリ内閣が労働組合法を制定し、組合の法的地位が認められた。
- d 民主的な選挙制度を求める労働者が、19世紀前半、人民憲章を掲げて政治運動を起こした。

- (10) 19世紀から20世紀初めに発展した近代諸科学について、誤っている説明はどれか。
- a ドイツのヘルムホルツが、エネルギー保存の法則を提唱した。
 - b ポーランド出身のマリ＝キュリーは、物理学と化学の2分野でノーベル賞を受賞した。
 - c マルサスの古典派経済学が関税などによる国家の保護が必要であると説いたのに対し、リストは自由放任主義が経済発展に必要であると主張した。
 - d 19世紀後半には、細菌学や予防医学が発展し、公衆衛生についての知識も広がり、幼児死亡率が低減した。
- (11) パリ＝コミューンをめぐる出来事を古い順に並べたとき3番目にくるのはどれか。
- a 社会主義者やパリの民衆がドイツとの屈辱的な講和に反対し、革命的自治政府を樹立した。
 - b ナポレオン3世が、スダン（セダン）で捕虜となった。
 - c ナポレオン3世が、メキシコ遠征に失敗した。
 - d フランス臨時国防政府が、ドイツ軍に降伏した。
- (12) ドイツにおける社会主義運動について述べた次の文①と②の正誤の組合せとして、正しいものはどれか。
- ① 1878年、社会主義者鎮圧法が撤廃されると、社会民主党が急速に勢力を拡大した。
 - ② 労働者を社会主義運動から切り離すことを目的の一つとして、ビスマルクにより社会保険制度が導入された。
- a ①－正 ②－正
 - b ①－正 ②－誤
 - c ①－誤 ②－正
 - d ①－誤 ②－誤
- (13) 国際的労働者組織インターナショナルについて、正しい説明はどれか。
- a デカブリストのバクーニンは、第1インターナショナルに加入したが、マルクスとの対立により除名された。
 - b 1889年、ドイツ社会民主党が中心となり、フランス社会党やイギリス労働党と協力して、ベルリンで第2インターナショナルが結成された。
 - c 第2インターナショナルは、帝国主義や軍国主義への反対運動を組織した。
 - d 1935年、第3インターナショナル（コミンテルン）の第7回大会で、社会民主主義勢力との対立が深まった。

3

EU加盟国のムスリム人口について述べた以下の文章を読み、下線部(1)～(12)に関する問いについて、a～dの選択肢の中から答えを1つ選び、マーク解答用紙の所定欄にマークしなさい。

下の表は2019年におけるEU加盟国の中でムスリム人口の多い国を示したものである。上位5ヶ国はいずれも100万人以上のムスリム人口を有している。

順位	国名	ムスリム人口(千人)
1	ドイツ	3,591
2	イギリス	2,971
3	フランス	2,801
4	イタリア	1,211
5	スペイン	1,168
6	オランダ	975
7	ブルガリア	700
8	ギリシア	524
9	ベルギー	462
10	スウェーデン	401

出典：店田廣文「世界と日本のムスリム人口 2019/2020年」

Research Papers : Muslims in Japan, No.19, January 2021, p.8

これらの国々の中で、スペインはその国土にかつてイスラーム王朝が栄え、ブルガリアとギリシアはオスマン帝国に従属した過去があるが、その他の国々は国民の多くがキリスト教徒であり、イスラームとの密接なつながりはないといえよう。にもかかわらず、現在多くのムスリム人口を抱える理由は、イスラーム地域に対する植民地支配や移民の積極的な受け入れといった近現代の歴史的背景によるものである。

最大のムスリム人口を有するドイツ⁽¹⁾は、19世紀末以来オスマン帝国との関係⁽²⁾を強め、第一次世界大戦では同盟国として共に戦った。第二次世界大戦後、当時の西ドイツ政府が1960年代に外国人労働者の受け入れを推進したため、トルコから多くのムスリムがドイツに出稼ぎに赴いた。やがて彼らは故郷の家族も呼び寄せ、ドイツの中にトルコ人コミュニティが形成された。

2位のイギリスは、インド帝国を統治し、中東においても19世紀末にエジプトを占領し、オスマン帝国滅亡後には現在のパレスチナ・ヨルダン・イラクに相当する地域を委任統治領としていた⁽³⁾。3位のフランスは、1830年にアルジェリアに侵攻して統治下に置き、19世紀末から20世紀初頭にはチュニジア、モロッコを保護国化した。さらに、第一次世界大戦後にはシリアを委任統治領とした⁽⁴⁾。4位のイタリアも、20世紀初頭フランスに対抗してリビアに侵攻し、第二次世界大戦後は、地中海に長い海岸線を有する半島国家という地理的条件の下、中東・北アフリカから多くの移民・難民を受け入れた⁽⁵⁾⁽⁶⁾⁽⁷⁾⁽⁸⁾。

5位のスペインでは、かつてアンダルシアにイスラーム王朝が栄えたが、15世紀末にはキリスト教徒が国土を奪回した⁽⁹⁾。19世紀初頭にはモロッコ北部を保護領としていた時期があり、近年モロッコ系の移民が増加している。6位のオランダは、現在世界最大のムスリム人口を有するインドネシアを植民地支配した⁽¹⁰⁾。ブルガリアとギリシアはオスマン帝国から独立した国々である⁽¹¹⁾⁽¹²⁾。

このようにヨーロッパのムスリム人口動態は、過去の植民地支配の歴史と第二次世界大戦後の高度経済成長期における労働力の需要の高まりが大きな影響を及ぼしているが、近年はアジア・アフリカ地域からの難民の増加も少なからず要因となりつつある。

- (1) モロッコをめぐるドイツとフランスとの対立について、正しい説明はどれか。
- a イタリアがフランスを支援したためドイツは譲歩し、1912年モロッコはフランスの保護国となった。
 - b 第一次モロッコ事件の事後処理のため、セオドア・ローズヴェルトの提唱でスペインのマドリッドで国際会議が開かれた。
 - c ベルベル人の反乱鎮圧にフランス軍が投入されたことに対抗して、ドイツは軍艦をタンジールに派遣した。
 - d モロッコのスルタンを訪問したヴィルヘルム2世はフランスの進出に反対を表明した。
- (2) ドイツとオスマン帝国の関係について述べた次の文①と②の正誤の組み合わせとして、正しいものはどれか。
- ① クリミア戦争の講和会議はビスマルクの仲介でベルリンで開催された。
 - ② オスマン帝国は、青年トルコ革命後に親独政策を強めてドイツにバグダード鉄道の敷設権を与えた。
- a ①-正 ②-正
 - b ①-正 ②-誤
 - c ①-誤 ②-正
 - d ①-誤 ②-誤
- (3) インド帝国について、正しい説明はどれか。
- a イギリスの支援で1885年に全インド＝ムスリム連盟が結成された。
 - b インド民族運動の指導者ティラクはスワラージ要求を掲げた。
 - c 英印円卓会議の後、1919年インド統治法が制定された。
 - d 1911年にデリーからカルカッタへ首都を移転した。
- (4) イギリスの中東地域への進出について、誤っている説明はどれか。
- a イギリスの委任統治領であったイラクとトランスヨルダン、それぞれ1932年と1946年に王国として独立した。
 - b イギリスはエジプト王国独立後も1954年までスエズ運河地帯駐屯権を維持した。
 - c ウラービーの反乱を機に1882年エジプトを軍事占領し、事実上保護下においた。
 - d 1875年保守党のチェンバレン首相はスエズ運河会社の株を買収して経営権を握った。
- (5) フランスの北アフリカ進出について、誤っている説明はどれか。
- a 1904年フランスはイギリスと英仏協商を結び、エジプトにおけるイギリスの、アルジェリアにおけるフランスの優越を相互承認した。
 - b シャルル10世による1830年のアルジェリア出兵が植民地化の起点となった。
 - c 西アフリカ・サハラ地域とジブチの連結を目指すフランスのアフリカ横断政策は、イギリスの縦断政策と衝突し、1898年にファショダ事件が起こった。
 - d 1881年のチュニジア保護国化は翌年の三国同盟結成の要因となった。
- (6) シリアは1920年3月に王国として独立したが、同年8月セーヴル条約によってフランスの委任統治領とされた。独立時に国王に即位したのは誰か。
- a アブド＝アルアジーズ
 - b ナセル
 - c ファイサル
 - d フセイン（フサイン）
- (7) 1911～1912年の北アフリカのオスマン帝国領をめぐる戦争後、イタリアが獲得した地域はどこか。
- a アドワ
 - b エリトリア
 - c ソマリランド
 - d トリポリ・キレナイカ

- (8) イタリアのリビア植民地化に抵抗したイスラーム勢力はどれか。
- a サヌーシー教団
 - b バーフ教徒
 - c マフディー国家
 - d ワッハーブ派
- (9) 下線部(9)について、誤った説明はどれか。
- a アブド=アッラフマーン3世はファーティマ朝に対抗してカリフを称した。
 - b アルハンブラ宮殿は代表的なスペイン=イスラーム建築である。
 - c イブン=ルシュド(アヴェロエス)の『医学典範』は、ラテン語に翻訳されてヨーロッパの医学界にも大きな影響をあたえた。
 - d ナスル朝の首都グラナダの陥落で、キリスト教徒の国土回復運動(レコンキスタ)は完了した。
- (10) オランダのインドネシアにおける植民地支配について、誤っている説明はどれか。
- a アンボイナ事件を機にイギリス勢力をインドネシアから締め出した。
 - b カルティニがオランダからの独立を掲げてイスラーム同盟(サレカット=イスラーム)を結成した。
 - c 19世紀、オランダ政庁はジャワ島の農産物に対して強制栽培制度を導入した。
 - d 20世紀初頭、オランダ本国でインドネシアでの植民地政策に世論の批判が高まり、「倫理政策」が開始された。
- (11) 1878年のベルリン条約でブルガリアはオスマン帝国支配下の自治公国とされたが、同条約で独立が国際的に承認された国はどこか。
- a アルバニア
 - b クロアチア
 - c ボスニア・ヘルツェゴヴィナ
 - d ルーマニア
- (12) ギリシアについて、誤っている説明はどれか。
- a イギリス・フランス・ロシアはギリシアを支援して独立戦争に介入した。
 - b 1829年、オスマン帝国はロシアとの条約でギリシアの独立を受け入れた。
 - c 第一次世界大戦後、ギリシア軍はアナトリアに侵攻した。
 - d 第二次バルカン戦争において、ギリシアはオスマン帝国と戦った。

(12) マレー人の港市国家群が連合してできたシュリーヴィジャヤは大乗仏教国であった。この国の都は以下のどれか。

- a パータリプトラ
- b パレンバン
- c ボロブドゥール
- d マタラム

(13) シンガポールについて、誤っている説明はどれか。

- a ASEAN の創立時からのメンバーである。
- b この地を開港させたカーゾンが近代的な都市を建設した。
- c 1942年に日本軍が占領し昭南と改称し、中国軍を支援する華僑を摘発した。
- d 1965年にリー＝クアンユーがマレーシアからの独立を宣言した。

[以 下 余 白]